

# だっこだっこあみだっこ

ほく・わたしを育てるほとけのことは

因果（いんが）—よいおこないも、わるいおこないも、  
じぶんにかえってくる—



菜園日記（さいえんにっき）

くらしの歳時記（さいじき）

平成 30 年

7.8

月号

東山浄苑東本願寺発！パパママこどものフリーペーパーだっこだっこあみだっこです！

あみださまは、おかあさんの「だっこ」のように、あたたかくわたしたちをみまもって下さっている—  
そのことに気づいたとき、わたしたちは安心して、自信をもって生きていけます。

未来をになう子どもたちは社会の宝もの。その子どもを育てる**子育ては、とても尊い大事な  
ことです。いい子になってほしい、**と思いながらも、**ほんとうのやさしさ、かし  
こさ、強さってなんだろう？** —ほとけさまのみ教えが、悩めるパパ、ママのともしびに  
なりますように。 ぜひ、ご家族みなさんでお読みください♪

FREE Paper

# ぼく・わたしを育てる ほとけのことば

今月のことば：「因果(いんが) ーよいおこないも、わるいおこないも、じぶんにかえってくるー」

仏教には、今のわたしたちにとって、あたたかなともしびとなることばがたくさんあります。

「ほとけのことば」から、わたしたちの日々のくらしの目標をかんがえてみましょう♪

## ●「因果<sup>いんが</sup>」ってどういうこと？

今月のテーマは「因果」です。むずかしい言葉ですね。

みなさんは、「日ごろの<sup>おこな</sup>行いがよいから、お天気にめぐまれた」とか「悪い<sup>わる</sup>ことをしたらバチがあたる」とお父さんやお母さんなどから言われたことはないでしょうか？

よいことをすればよいことが、悪いことをすれば悪いことが自分に返ってくるという考えから出てくる言葉です。

昔話にも同じ教訓<sup>きょうくん</sup>を教えてくれるものが多いですね。

例えば、「花咲かじいさん<sup>はなさ</sup>」では、いじめられた犬を助けたやさしいおじいさんは、犬の恩返し<sup>おんがえ</sup>を受けます。一方で、おとなりのよくばりなおじいさんは、やさしいおじいさんの恩恵<sup>おんけい</sup>を横取りしようとして、さんざんな目にあう……。

仏教では、すべての物事は「因果の法則<sup>ほうそく</sup>」に支配されていると説かれています。

「因果」とは、「原因<sup>げんいん</sup>」と「結果<sup>けっか</sup>」の関係を表す言葉です。これは、この世で起こる物事には、必ず原因があり、その原因に応じた結果につながっているという意味です。そして、よいことをするとよい結果を生み(善因善果<sup>ぜんいんぜんか</sup>)、悪いことをすると悪い結果を生む(悪因悪果<sup>あくいんあくか</sup>)と説かれているのです。

## ●一生だけではおわらない「因果」

仏教には「六道輪廻<sup>ろくどうりんね</sup>」という考え方があります。

私たちは迷いながら6つの世界(六道<sup>ろくどう</sup>)を生まれかわり死にかわりする(輪廻<sup>りんね</sup>)、という考えで、死んだあとにどの世界に生まれかわるかは、生きていたときの行いによって決められるのです。

六道の世界を苦しみが大きい順に並べると、①地獄②餓鬼③畜生④修羅⑤人間⑥天上となります。

### ろくどう 六道



①地獄：悪いことをした人が死んだあとに行く、くるしみばかりの世界。罪の重さによって、8種類の地獄がある。

②餓鬼：たえまなく、おなかがすいてのどがかわくことに苦しむ世界。

③畜生：人間以外の動物の世界。強い動物に食べられたり、人間にただつかわれることも。

④修羅：戦争がたえず、あらそいつづける世界。

⑤人間：私たちの生きる世界。悩み、くるしみはあるけど、六道のなかで人間の世界だけが仏さまの教えにであえる。

⑥天上：天人たちが毎日たのしくらす世界で、天人は寿命もながい。しかし煩惱がなくならず、仏さまの教えにもであえないため、さとりを得られない。

今、人間に生まれてよかった！と思っても、<sup>ゆだん</sup>油断はできません。悪いことをすれば、今より悪い世界へ落ちてしまうからです。

なぜ、私たちは六道を輪廻しなければならないのでしょうか？

それは、私たちひとりひとりが持つ「業(カルマ)」のためです。私たちは、前世の「業」を引き継いで生まれ変わるのです。

「業」とは、おこないや考えの<sup>そうしやう</sup>総称で、体と口と心で行うすべてのこと(身口意の<sup>しんくいさんごう</sup>三業)です。

<sup>さんごう</sup> 三業	意味	よい行いの例	わるい行いの例
<sup>しんごう</sup> 身業	からだで行う業。	おかあさんを手伝う。	ともだちを手でたたく。
<sup>くごう</sup> 口業	口による業。	ひとをほめる。	悪口やうそを言う。
<sup>いごう</sup> 意業	心による業。	ともだちを助けようと思う。	こころの中でともだちを悪く思う。



この「業」というのが「因果」の「因」にあたります。よいことをすれば、今よりもしあわせな世界へ生まれかわることができ、悪いことをすれば、より苦しい世界へ生まれかわらなければなりません。

つまりは、六道輪廻のすべては、自分自身の「業」による「<sup>じごうじとく</sup>自業自得」なのです。……なんだかこわく感じるかもしれませんが、自分のしたことが、悪いこともよいことも自分に返ってくる、ということは、わたしたちに、「できるだけよいことをしなさい、それがしあわせにつながっているんだよ」と教えてくれています。

## ●しあわせに生きて生まれるために

「このくらいのことならいいだろう」「ばれなければいいんだ」と思って、悪いことをしたことはありませんか？

お釈迦<sup>しゃか</sup>さまは、「一滴一滴の水も、たまれば水瓶<sup>みずがめ</sup>をいっぱいにする」と言って、小さな悪を軽く見てはならない、と説かれました。どんなに小さなことでも、悪いことをすると、あとで大きな苦しみをもたらすことがあります。

仏さまは、私たちの「悪いこと」も「よいこと」も、すべてをいつも見ておられるのです。



おかあさんからほめられたとき、しかられたとき。そこには理由(原因)があります。どうしてほめられたのか、どうしてしかられたのか、その理由をちゃんと知れば、次はもっとよいことができるし、もうおなじ悪さはしないですみます。一度たちどまって、「どうしてこうなったのか？ こういうことをしたらどうなるか？」を考えてみましょう。今日、ものごとには「<sup>いんが</sup>因果」があることを知ったあなたは、よいことをすることのたいせつさを知っています。「どうして？」を知ること、「どうなる？」を想像すること、できるだけよいことをしようとする。それがあなたの「しあわせ」につながっているのです。

だっこだっこあみだっこ は、毎月東山浄苑東本願寺で開催して

いる「親子仏法の集い」の活動内容をもとに編集しています♪

親子仏法の集い -仏法に親もう 土に親もう!- ってなあに？

毎月第3日曜日(行事等で変更の場合あり)に、  
東山浄苑東本願寺の菜園で行っている親子向けの活動。  
なんでもありがたくいただいて、粗末にしない—古きよき日本人を育てた仏教の教えです。

家族で野菜づくりや年中行事に親しみ、  
「いただきます」「ありがとう」の豊かなこころを育てましょう。  
乳幼児から中学生までのお子さんご家族はどなたでも参加できます。  
お気軽にお尋ねください！



【活動日】 毎月第3日曜日 ・年中行事の折には変更

【場所】 東山浄苑東本願寺

※ベビールーム完備 ※屋内無料駐車場完備 ※参加ご家族30組限定

★お問い合わせ・参加のお申し込みは★

東山浄苑東本願寺 総合受付

電話 **075-541-8391** 毎日 9:00  
～17:00



LINE

LINE ID : oyakobuppou

LINEで参加申込が出来ます！興味のある方はお問い合わせ下さい。

## — 参加者募集中！今後の親子仏法の集いご案内 —

**8月15日(水)**

15:30～16:30 (受付 15時～)

【8月の言葉と目標】

ふせ  
布施

—「だれか」のために「わたし」にできること—

【活動内容】 こども盆灯会



6月24日の活動で作成した提灯献灯や紙芝居を見ます！

【特別】  
中学生以下の  
お子さま1人につき  
参加費  
**100円**

【場 所】 東山浄苑東本願寺内 あみだっこ菜園 等

【参加費】 1家族 1回 1,000円

**9月16日(日)**

10:00～12:00

【9月の言葉と目標】

じかい にんにく  
持戒・忍辱

—じぶんにもけないところをもつ—

【活動内容】

三つ葉種まき、芽キャベツ植付



親子佛法Instagram始めました！

アカウント名: amidakko

菜園や活動のようすを週2回程度アップしています。

フォローして画面を提示するだけで参加費1割引♪

(1家族1回のみ利用可)

※野菜の生育状況などによって、活動内容は予告なく変更になる場合があります。  
あらかじめ、ご了承ください。

※雨天の場合は、朱印帳づくりなど室内企画を行います！お楽しみに♪

※参加ご希望の方は  
事前にお電話で  
お申し込みください。

だっこだっこあみだっこ 平成30年7・8月号

平成30年7月20日発行 発行・印刷/東山浄苑東本願寺 〒607-8461 京都市山科区上花山旭山町 8-1 電話 075-541-8391 無料